



〒975-0031
福島県南相馬市原町区錦町一丁目 30 番地
TEL:(0244)26-1315
FAX(0244)26-1318
E-mail:sousou.kyouiku@pref.fukushima.lg.jp

令和7年5月22日(木)実施 **地域学校協働活動**
南相馬市立上真野小学校 田植え



今年で4回目の稲作体験活動

令和4年度から行われている南相馬市立上真野小学校の稲作体験活動も、今年度で4回目を迎えました。この活動は南相馬市が令和4年度から地域学校協働本部を立ち上げ、地域コーディネーターを中心に展開しているものです。南相馬市では、地域学校協働本部が各生涯学習センターの中にあることが特徴です。そして、地域コーディネーターは住民の参画のもと、地域に根ざした活動を行っています。



5月22日(木)に行われた田植え体験活動は、学校の近くにある学校田で行われました。今年度も全校生で「マンゲツモチ(もち米)」の苗を植えていきます。上真野小学校の田植え体験活動は毎年5年生が中心となって行います。その5年生が進行を務めた開会式の中では、山田徹校長先生から、「地区の良さ」や「稲の種類」「稲を植えるときに考えてほしいこと」等のお話がありました。



地域ボランティアの方から田植えのやり方を教えていただいたあと、田植えが始まりました。1~6年生が、田んぼの担当場所に入っていき、苗を植えていきました。手持ちの苗がなくなると、周りから苗を投げ入れてもらい、次々と田植えを進めていきました。中には足を滑らせて泥まみれ

になったり、足が泥にはまってしまい一歩も動けなくなったりしましたが、笑顔だけは消えませんでした。

田植えの後は、農機具メーカーの協力を得て、無人田植え機の実演を見学しました。直前まで、手植えで苦労しながら田植えを行っていたのですが、ものすごい速さで8列いっぺんに苗を植えていく機械のパワーに圧倒されました。しかも無人の機械が正確に手際よく作業する姿は、近未来の農業が目の前に現れた驚きがありました。



今回は無人田植え機に試乗できるチャンスもありました。子どもたちからは「すごい」「楽しかった」という感想とともに、「将来はこういう機械を開発する人になりたい」という夢を語っている子もいました。農業の後継者不足が課題となっていますが、多様な経験が子どもたちの将来の夢を広げてくれるのだと改めて知ることができました。

ちなみに、今回無人田植え機で植えられていた品種は、「にじのきらめき」という暑さに強い品種でした。昨今の猛暑にも耐えることのできる品種で、今後米不足を解消する救世主になるかもしれないとのことでした。

子どもたちは、秋には稲刈り、冬には餅つき、生育途中の除草や水の管理、害虫駆除の過程も学んだり実践したりするそうです。また、参加した地域の人も子どもたちの姿を見たり、専門家からの話を聞いたりしながら多くのことを学ぶ機会となりました。上真野地区では、学校を核とした地域づくりがしっかりと進められていることを改めて感じた地域学校協働活動でした。

